

西條建築

滑板による新たな祭りの場



○西条市

西条市は愛媛県東部に位置し、住みたい田舎ベストランキングで1位を獲得したことにより、近年移住の検討者が右肩上がりに増加している。これにより少子化の進行は鈍化し、市内ではインフラ整備が進み都市が近代化し、街の転換期となっている。

○西条祭り

西条祭りは、江戸時代中期から約300年以上続く、国内有数の日本手作りのおらが祭りの形式を残している祭りである。市内から日本一の屋台数と言われる「だんじり・みこし」と共に、それを担ぐ人々が日本中から一堂に集結し魅せる様子は、豪華絢爛、西条の秋の風物詩と形容される。西条祭りから生まれる熱量は、地区内の活気に直結し、西条市の発展を語るうえで欠かせないものである。

○人々との関係

にぎやかな祭りと称賛される反面で、良いも悪いも全て踏まえた土着的な祭りであるがゆえに、西条祭りや西条市に土着的な関係、関心のない人からは、野蛮で狂っている祭りと批判される。祭りの街と言える西条にとって、人々の価値観の違いは共同体形成において大きな溝となっている。



Modernization Saijo

西条祭りの近代化

○祭りの街、西条市の共同体

情緒的共同体

前近代的な共同体



西条祭りへ参加するには、地区独自の規則が存在する。幼少期からの継続的な交流により、前近代のような「地縁・血縁的な共同体」が形成されている。

西欧的な共同体



西条祭りは、血縁・地縁に関係のない人でも参加できる。そこに地縁・血縁関係、性別や年齢、国籍などによる制限はなく西欧的のような「拘束性は一切存在しない共同体」が形成されている。

利害的共同体

← 祭りとの一定の距離感 →



近年の移住者の増加に伴い、市内ではインフラ整備により新築住宅が立ち並び区画が各所で設けられている。移住者に年齢制限を設ける区画もあり、西条祭りや西条市に土着的な関係、関心のない人々による空間が形成されている。

○歴史社会学

社会学者マックスヴェーバーの「近代社会の成立要因」から現在の西条の特色を抽出し、西条祭りによるローカル性の強い「情緒的共同体」と新たに生まれる「利害的共同体」との今後の新たな共同体、都市空間について再考する。

近代化とは…

近代社会の成立要因より、その土地に住んでいたわけではない「よそ者」や「よそ者と先住者」が、社会的・経済的・法制的な関係を展開し始める。これにより、利害共同体による場が形成され、その人々による規則を多く含んだ空間が展開していく、これを近代化という。

○祭りの街の変化

① 街と共に発展する祭り

これまでの西条市は、主に西条祭りという「行為」の連続により生まれ、強化された情緒的共同体を「都市基盤」としていた。発展する都市と共に西条祭りの運営方式は、「独自」にかつ情緒的に変化し、人々の熱量と規則が上手く釣り合い、更なる西条祭りの活気につながり、発展し続けてきた。

② 増加する移住者

現在、西条市には移住者が増加している。しかし、血縁・地縁的・土着的に関係のない人にとってローカル活動は参加敷居が高く、情緒的な都市基盤を核とした運営方式の各地区では、新規の参加者の確保において新たな課題が浮き彫りになっている。

③ 二極化する住民

未来、都市には利害的共同体による空間が生まれ、ローカル活動は利害的な人々の「行為」を無視せざる負えなくなる。「独自の規則」も利害的に変化し、人々の釣り合いは崩れ、西条祭りの核である情緒的な「都市基盤」は分裂、熱量は衰退すると予想される。



課題

西条市に血縁的・地縁的・土着的に関係のない人のローカル活動の参加への高い敷居を緩和する必要がある。

Skateboard

分析:スケートボード

○基本方針

西条祭りの衰退を避けるべく、西条市に血縁的・地縁的・土着的に関係のない人のローカル活動の参加への高い敷居を緩和する必要がある。

今回の計画として、偏った共同体だけでなく全ての共同体に参加する機会を可視化させ、ローカル活動を身近にする。床屋政談や井戸端会議のような「行為」を起点として、分裂した共同体を橋渡し、新たな共同体を形成する。

○コンセプト

共同体間の橋渡しとして、日常施設にスポーツを用いて井戸端会議のような「行為」を発生させる。今回、情緒的共同体を象徴するスポーツとして、西条祭りと類似する共同体を有する「スケートボード」を利用する。



コンセプト図

○設計手順

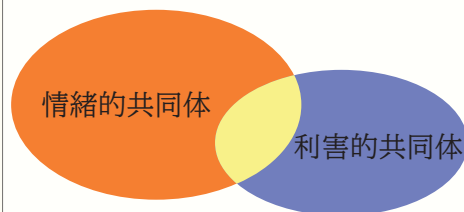
step.1 西条祭りの近代化



step.2-2 スケートボード



step.2-1 分析



step.2-3 新たな共同体



○スケートボード

スケートボードは、1980年代頃からフィールドが専用施設からストリートに向けられるようになったスポーツである。スケーターは、居場所の確保のため管理者と互いの信頼を基盤とした「ローカルルール(独自の規則)」を築く。場を共有する仲間として、障害なく関係を築くスケーターにとって「ローカルルール」は、ローカル内で共通認識として自然に広まる。これは、スケートボードの持つカルチャー性と釣り合い、かつ間接的に周辺地域の治安を保っている。このような、前近代のかつ西欧的なカルチャー性、ローカル性は西条の情緒的共同体と共通している。

○人々との関係

日本各地で柔軟にローカルルールを築き、通行人から歓声を浴びる反面で、あらゆる機能に縛られない開放的なスポーツであるがゆえに、関心、関係のない人々からは、専用機能であろうと都市の秩序を乱していると批判されることも少なくない。



○計画敷地

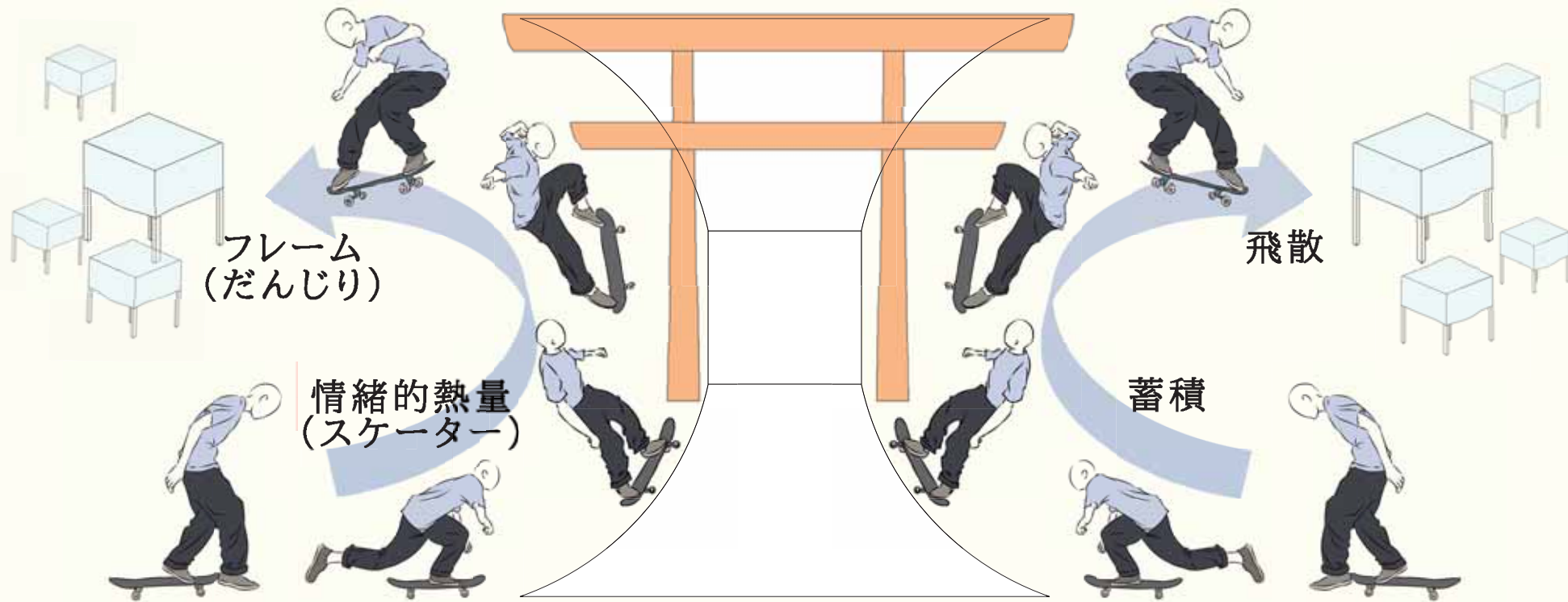


計画敷地は、屋台の運行動線の中心に位置し、中心市街地に隣接する西条児童館、市民公園とその周辺とする。近年では移住者の増加に伴い、老若男女問わず休日は利用者が溢れかえっている。ここに、公園施設としての機能を拡大した上で、新たな共同体形成の場を計画する。



Diagram

ダイアグラム



○情緒的熱量の代謝

○スケートボードの躍動

建築施設の全体像をスケートボードの躍動から引用する。計画敷地の外部から中心へ集まる情緒的熱量が、建築を土台として敷地内へ飛散し人々の行為の拠点となる。

○祭りのような神格的な場所

西条祭りのだんじりの構造から建築の構造、機能を選定することで、西条の情緒的な核としての熱量、鳥居のような神格さを可視化する。

○だんじりの構造

①上段:3階

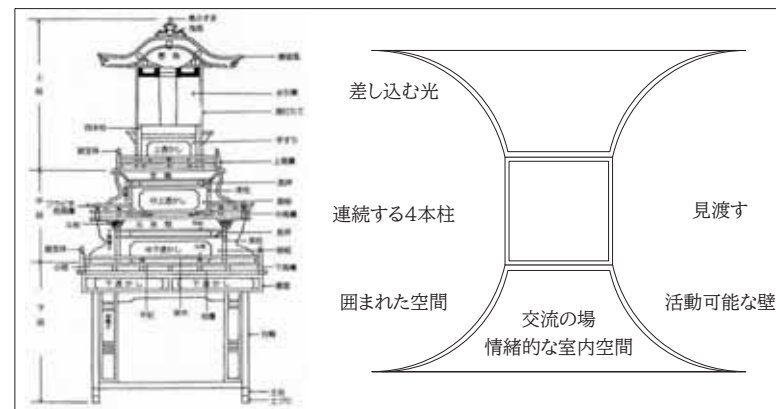
側面の構造体に水引幕が吊るされ、各地区の色を表している。主に上部から採光し、だんじり内部に優しい光を満たす。

②中段:2階

4本柱は、下段を土台として上段を支えている。昼間は、運行に疲れた子供たちが休憩し、住宅目線で街を眺める。夜間は、連続した提灯を設置して街を照らし、人々の熱量を「可視化」する。

③下段:1階

外部から内観は見えず、内部では太鼓、鐘を奏でる人が活動する。土台となる下段の内部、外部を担棒で担ぎ、人々の熱量の「源」となっている。

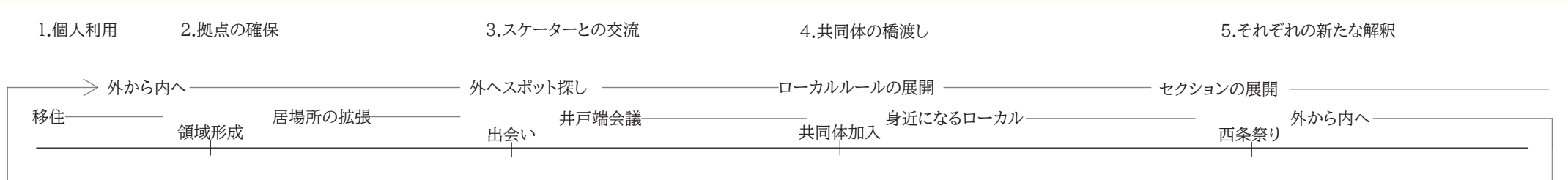


New community

分析:新たな共同体

時間経過により、広場内の各領域でローカルルール、共通認識が展開していき、新たな共同体が形成されていく。
各領域の利用方法が変化し、中心の様子にも変化が生まれる。建築内を利用することで、変化する空間と周辺の都市空間とを比較し、今後の西条市の構造を考えさせられる。
ここで生じる様々な実感や発見、交流は、新たな都市空間を創造し、西条市民の日々の活力となる。その連続によって、今後の西条市や西条祭りの更なるにぎわいに繋がる。

○新たな共同体の形成過程



行為の連続による意識の強化

○システム

○差異を認めるカルチャー性

スケートボード
・毎回変化する土俵
・スポーツ界一の技数
→リスペクト

西条祭り
・地区により変化する特色
・日本一の屋台数
→リスペクト



○ローカルな交流による空間展開

スケートボード
・ローカルルールによる交流
→独自の規則

西条祭り
・御花集めによる交流
→独自の運営方式



○解釈の変換による新たな空間

スケートボード
・都市の機能、重力に捕らわれない
→「都市空間」変換「地形」

西条祭り
・国道、市街地含めて都市機能に捕らわれない
→「街全体」変換「祭りの場」



○新たな祭りの場

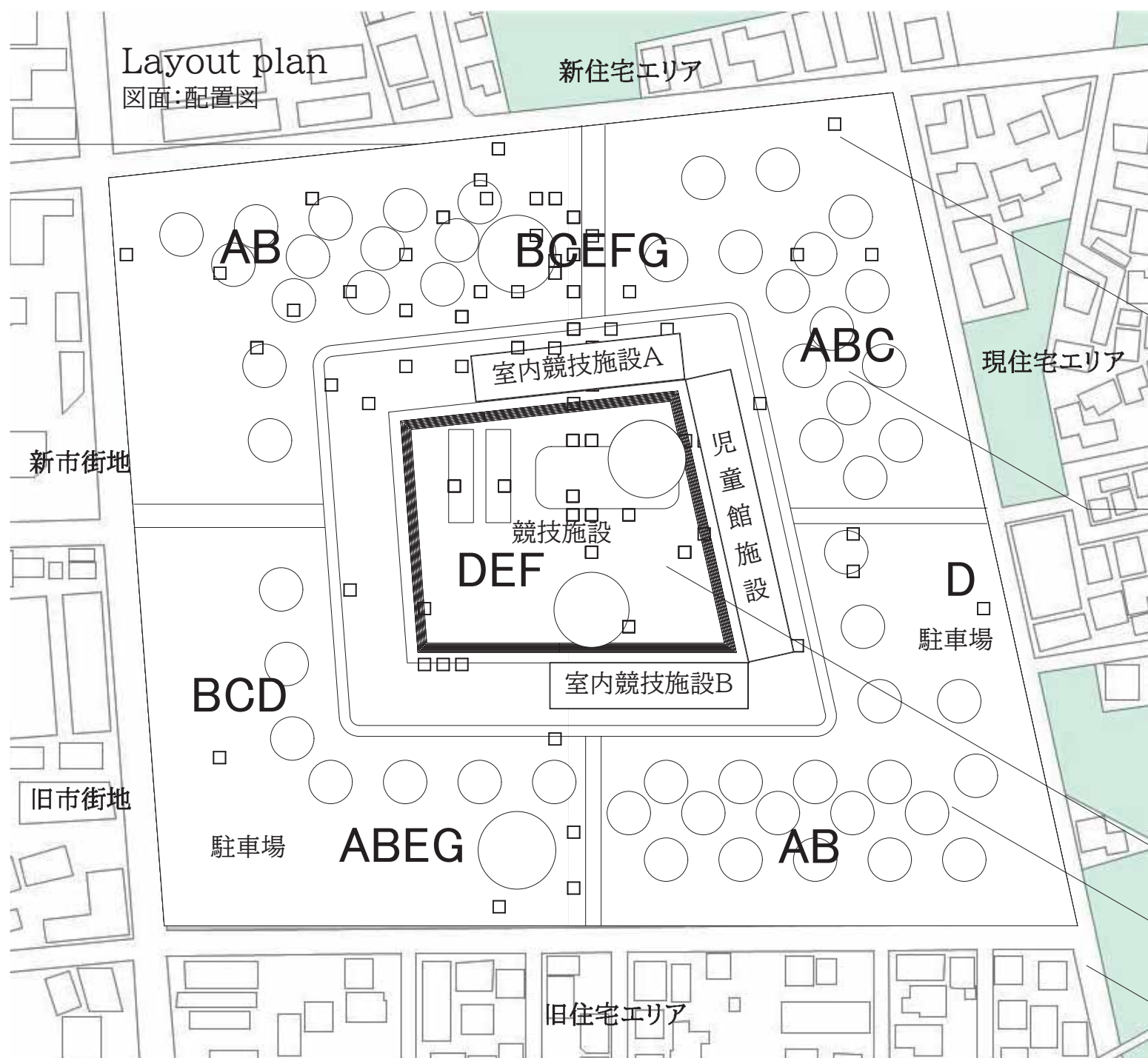
スケートボード
・都市の隙間に自然と集まる人々による偶発的に誕生する祭りの場

西条祭り
・決められた場所が祭りの場になると共に、その他の時刻は街中に屋台が練り動き、都市全体が祭りの場となる。



Layout plan

図面:配置図



フレーム配置:屋台倉庫分布

	西条市民の人		市外の人	
	情緒的共同体:祭○		利害共同体:祭×	
	sk 8×	sk 8○	sk 8×	sk 8○
A 芝等+フレーム	○	×	○	○
B コンクリ等	○	○	×	○
C コンクリ等+フレーム	×	○	×	×
D セクション	○	×	○	○
E 芝等	×	○	×	○
F コンクリ等	×	○	×	○
G 内部	○	×	○	○

領域別地形表

中心:情緒的共同体(競技場)

広場:都市空間(広場)

周辺:利害共同体(市街地, 住宅地)

Floor plan A 1F

図面：平面図A 1F(s=1/150)

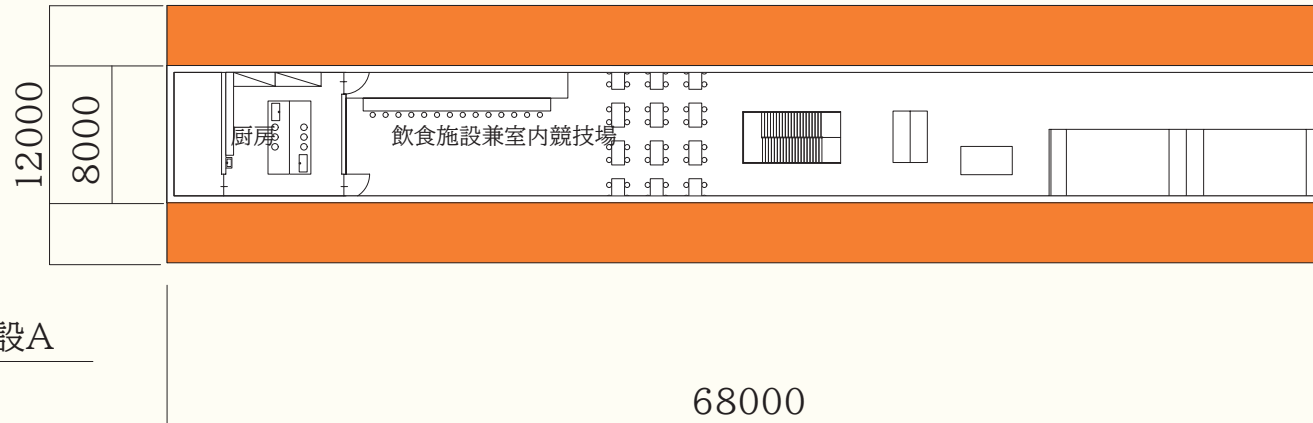
○広場：凹凸とフレーム

西歐的に創作されるセクション

組み合わせによる様々な空間

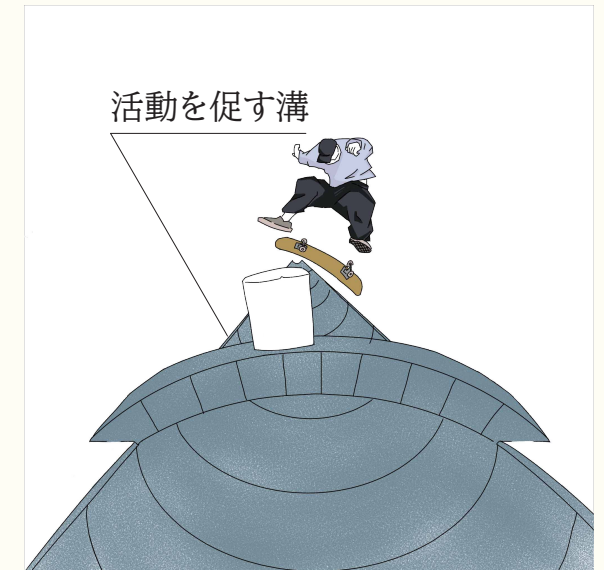
拡張する空間

入り混じる領域



室内競技施設A

活動を促す溝



Floor plan A 1F

図面：平面図A 1F(s=1/150)

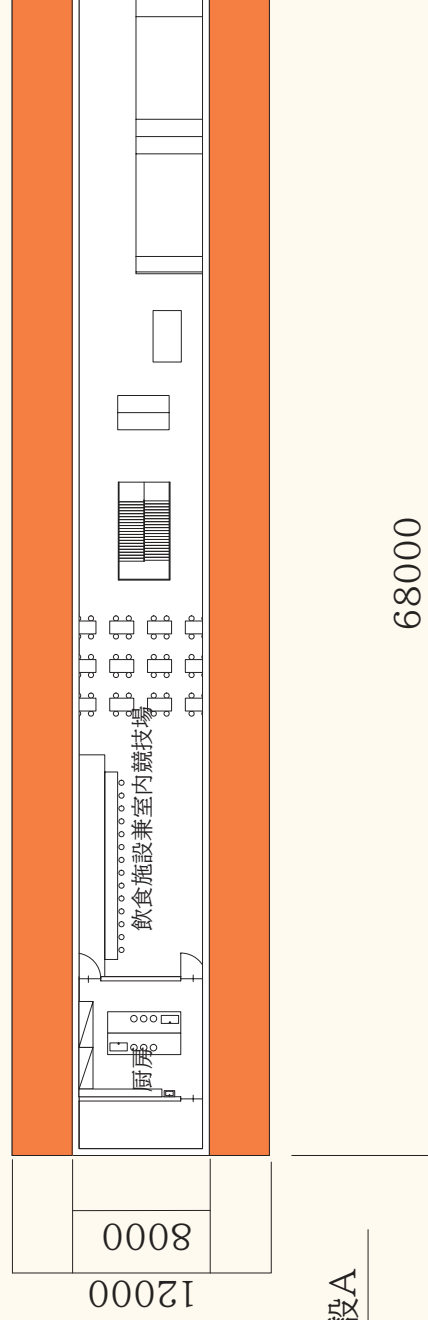
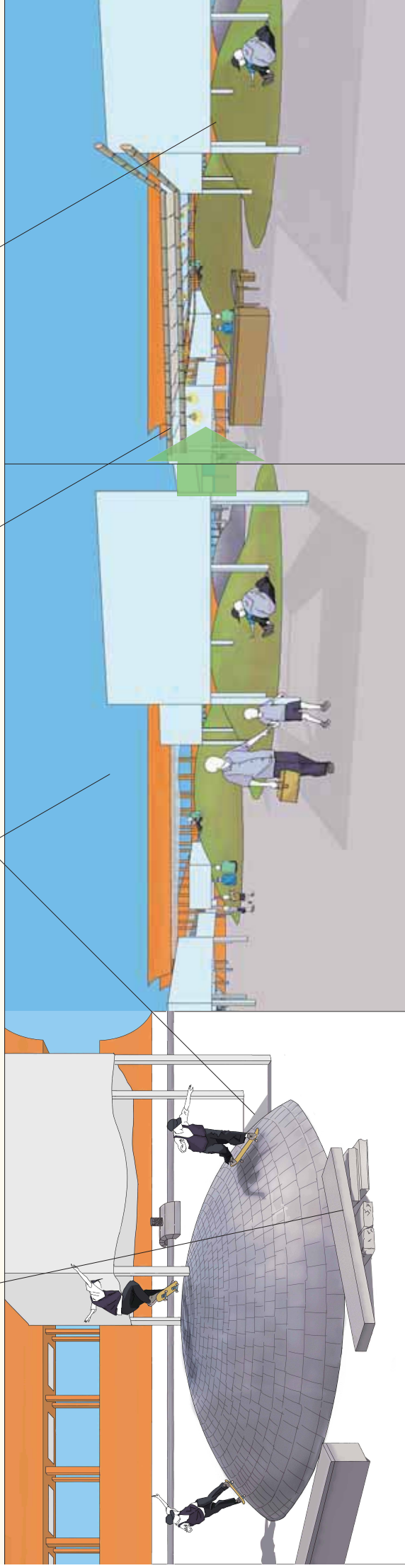
○広場：凹凸とフレーム

西欧的に創作されるセクション

組み合わせによる様々な空間

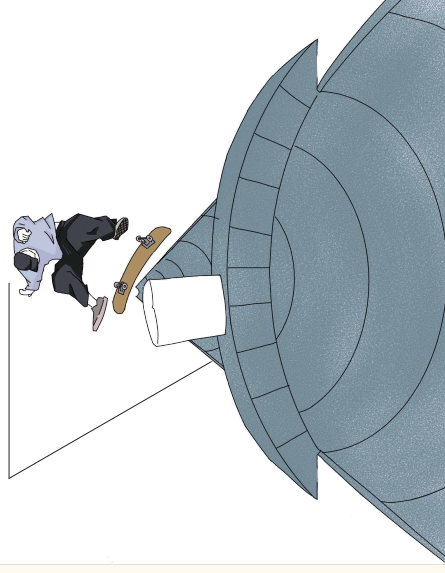
拡張する空間

入り混じる領域



室内競技施設A

活動を促す溝



Cross section A

図面:断面図 A(s=1/150)

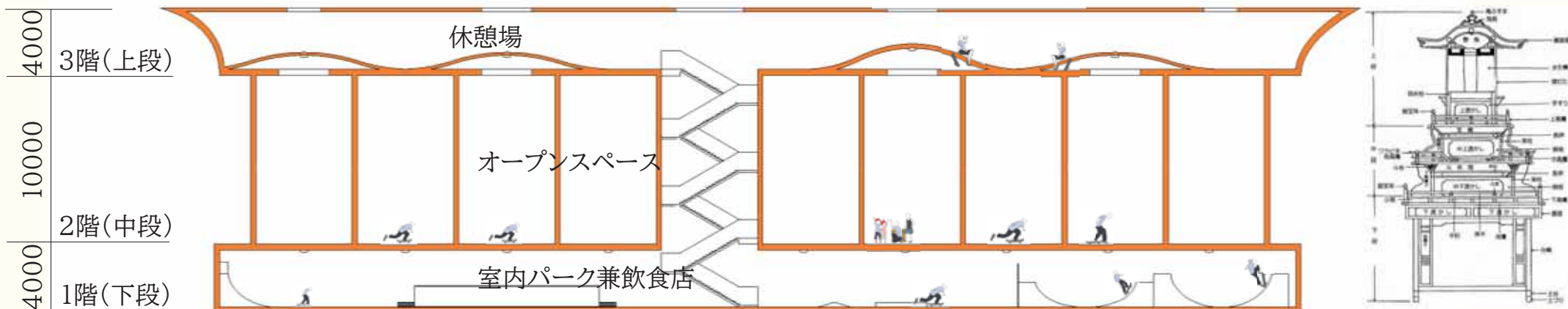
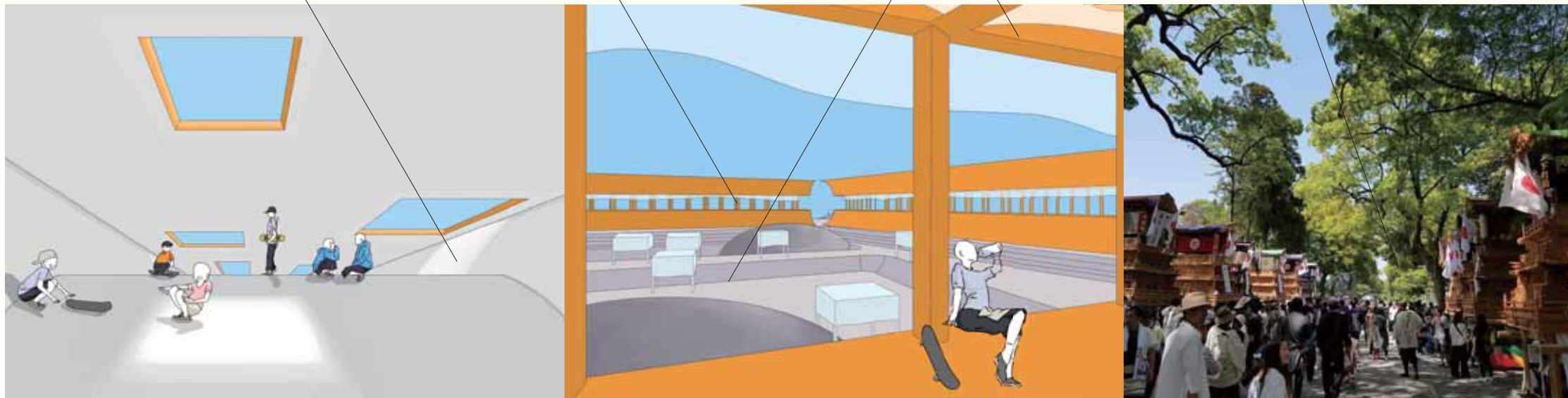
建築に囲まれた空間 = だんじりに囲まれた空間

○建築

差し込む光

4本柱の列

床の隙間からの光



Cross section B
 図面:断面図 B(s=1/150)

○中心：競技場

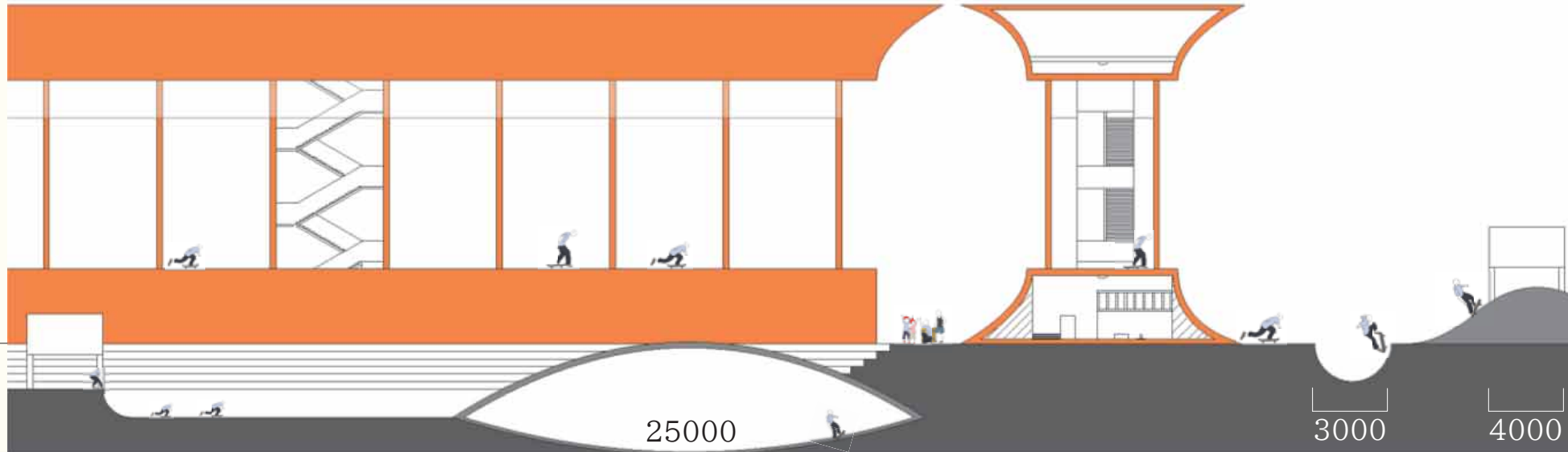


日常化する祭りの熱量

可視化する西条祭り

新たな祭りの場

代謝するセクション



西條建築

滑板による新たな祭りの場

